



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7476 URL https://www.as-1.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井内 卓嗣
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営企画本部長 (氏名)小野 元孝 (TEL)06-6447-1210
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	32,594	5.9	3,835	10.0	3,981	12.1	2,719	13.1
2019年3月期第2四半期	30,786	10.3	3,487	18.5	3,549	16.4	2,403	17.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,840百万円 (56.9%) 2019年3月期第2四半期 2,448百万円 (△15.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	145.69	145.50
2019年3月期第2四半期	128.76	128.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	77,089	55,791	72.2
2019年3月期	78,773	53,252	67.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 55,671百万円 2019年3月期 53,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	70.00	—	71.00	141.00
2020年3月期	—	83.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	84.00	167.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,550	7.2	8,850	17.0	9,120	17.7	6,250	18.7	334.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	20,688,135株	2019年3月期	20,688,135株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,020,671株	2019年3月期	2,021,083株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	18,667,184株	2019年3月期2Q	18,666,838株

(注) 期末自己株式数においては、株式給付信託（取締役向け）及び株式給付型E S O P信託の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有している当社株式(2020年3月期2Q 39,160株、2019年3月期 39,720株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日、以下「当第2四半期」という)におけるわが国経済は、良好な雇用環境が景気の下支えとなっている一方、米中貿易摩擦に起因する海外経済の減速懸念から輸出や生産に弱さが見られ、先行き不透明な状況が続いています。

また、当第2四半期は例年より営業日数が4日少ない第2四半期となりました。

このような事業環境のもと、当第2四半期の連結売上高は、325億94百万円(前年同四半期比5.9%増)となりました。この要因としては、eコマース型集中購買やネット通販業者向け売上が引き続き伸張していること、品揃えが400万点近くに増えたWEB上のみの取扱商品の売上が新規の売上獲得に貢献していること、新規商材として取り組んでいる介護施設向けや工場向けMROサプライ品などが伸張したこと等があげられます。

なお、当社は日々使用される消耗品を日々ご注文いただく業態であり、営業日数の増減に、売上高の増減が少なからず連動する傾向があります。参考までに、1日当たりの売上高で比較すると下表のようになります。

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
売上高	24,404	25,532	27,910	30,786	32,594
前年同期比	103.5%	104.6%	109.3%	110.3%	105.9%
国内営業日数(日)	121	121	122	121	117
(前年同期比増減)	(△2)	(-)	(+1)	(△1)	(△4)
1日当たり売上高	201	211	228	254	278
前年同期比	105.2%	104.6%	108.4%	111.2%	109.5%

また、特に9月に入ってから、10月からの消費税増税に関連した前倒しと見られる中価格帯以上の需要が加わり、9月度単月の連結売上高は前年同月比2割程度の増加となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、63億86百万円(同4.3%増)と前年同四半期比2億62百万円増加しました。増加要因としては、2年ぶりに更新した中国語カタログ等の発刊によりカタログ費が1億2百万円増加したことがあげられます。「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に添付している四半期毎のカタログ費イメージに示すとおり、年間では減少する見込みであります。それ以外は、売上に連動する運賃及び保管費等による増加であり、計画内の抑制的な運用ができました。

この結果、営業利益は38億35百万円(同10.0%増)、経常利益は39億81百万円(同12.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億19百万円(同13.1%増)となりました。

部門別の状況及び中期経営計画売上施策の進捗状況は、以下のとおりです。

<研究・産業機器部門>

科学機器分野では、実験用の工具やワゴンなどの実験設備品、分析用サプライ品等の引合いが増えました。販売チャネルとしては、引き続きネット通販業者向け及びeコマース型集中購買が増え、中国向けも増収となりました。これらにより当分野の売上高は185億95百万円（同6.3%増）と底堅く推移しました。

また、製造現場を対象とする産業機器分野は、クリーンルーム用品や汎用機器の伸びが減速したものの、分析用サプライ品や純水関連機器類、工場向けMROサプライ品の引合いが増えました。販売チャネルではネット通販業者向けが引続き拡大しております。これらにより当分野の売上高は72億52百万円（同2.8%増）となりました。この結果、当部門の当第2四半期の売上高合計は258億47百万円（同5.3%増）となりました。

<病院・介護部門>

病院・介護部門では、手術用消耗品、ウェア類、診察補助器具類等の引合いが増えました。販売チャネルとしては、掲載品を拡充したネット通販業者向け及び介護施設向けが伸張しました。これらにより当部門の当第2四半期の売上高は65億28百万円（同8.3%増）となりました。

なお、消費税増税に関連した前倒しと見られる需要は当部門で顕著にあらわれ、9月度単月において前年同月比3割超の増収となりました。

<その他>

子会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは、「OffSide」システムにより理化学機器・消耗品等のWEB購買代行サービスを運営しております。そのシステム利用料としての当第2四半期の売上高は2億18百万円（同6.0%増）となりました。

<中期経営計画売上施策の進捗状況>

中期経営計画で掲げる売上3施策は、以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
eコマース	4,970	5,995	120.6
海外事業	1,779	1,750	98.3
新規商材	1,307	1,714	131.1
3施策合計	8,058	9,460	117.4

尚、海外事業につきましては、大学や研究機関を中心とする中国におけるローカルユーザー向け売上は伸張したものの、中国における日系企業向け売上が奮いませんでした。また、日本からの中国以外のアジア地域等への輸出は、持ち直しつつあるものの海外経済の減速の影響を一部受けました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、770億89百万円（前連結会計年度末比16億84百万円減）となりました。このうち流動資産は、434億41百万円（同40億23百万円減）となりました。これは、主として受取手形及び売掛金並びに電子記録債権が併せて36億54百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、336億47百万円（同23億39百万円増）となりました。これは、主として来年度稼動を予定している新物流センターに設置する設備の中間金払い等により有形固定資産その他が14億14百万円増加したこと、時価評価等により投資有価証券が8億45百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、212億97百万円（同42億23百万円減）となりました。このうち流動負債は、184億77百万円（同42億70百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が29億82百万円減少したこと、未払法人税等が2億16百万円減少したこと、投資有価証券の取得に伴う未払金を含むその他の流動負債が8億48百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、28億19百万円（同46百万円増）となりました。これは、主として繰延税金負債が5億35百万円増加した一方、長期借入金が4億50百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、557億91百万円（同25億39百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が13億91百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が11億35百万円増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し、68億55百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、29億27百万円の収入となりました。これは、仕入債務の増減額による支出29億77百万円、法人税等の支払による支出14億27百万円等があった一方、税金等調整前四半期純利益による収入39億81百万円、売上債権の増減額による収入36億41百万円等があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億31百万円の支出となりました。これは、来年度稼動を予定している新物流センターに設置する設備の中間金払い等により有形固定資産の取得による支出15億99百万円があった一方、定期預金の払戻による収入5億円等があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億42百万円の支出となりました。これは、配当金の支払による支出13億27百万円、長期借入金の返済による支出4億50百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

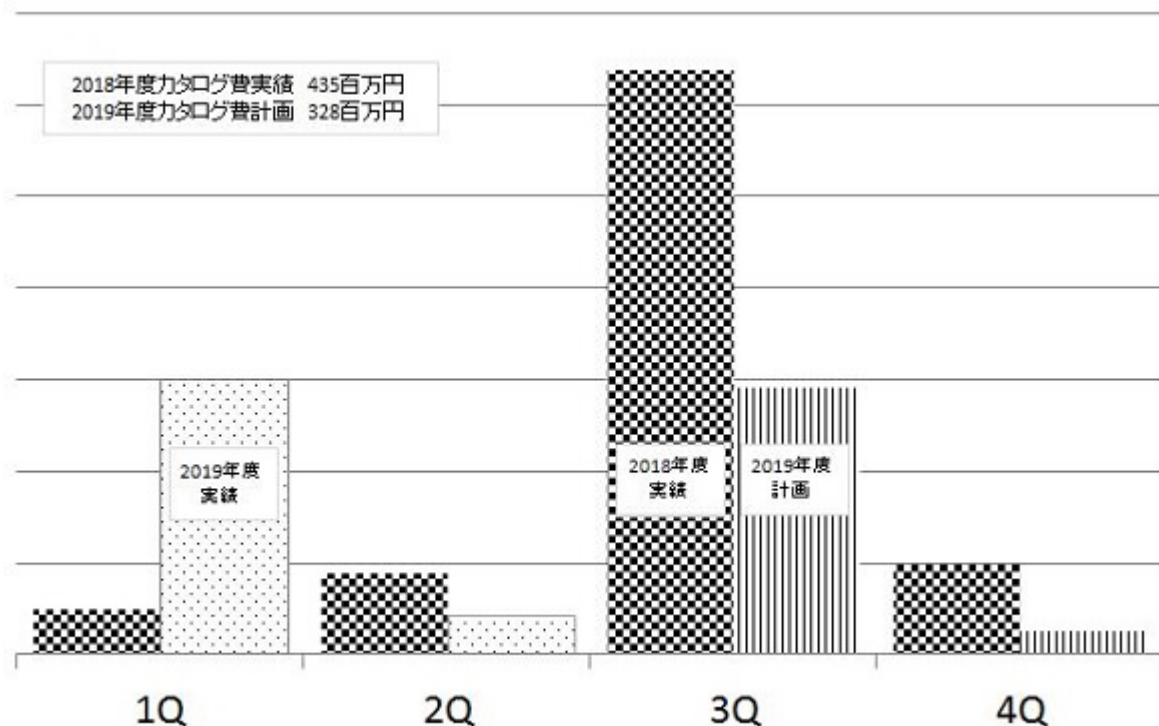
当第2四半期におきましては、9月に消費税増税前の前倒しとみられる需要により計画を上回る成績を残すことが出来ましたが、2014年4月の消費税増税の前後の先例にならい、第3四半期は若干の影響を織り込みました。従って通期業績につきましては、2019年5月13日公表の業績予想に変更はございません。

また、第3四半期以降の国内営業日数は、以下のとおりの予定であります。

	10月～12月	1月～3月	合計
2019年3月期	62日	57日	119日
2020年3月期	61日	58日	119日
前年同期比増減	△1日	+1日	±0日

なお、当社の場合、カタログの発刊時期により四半期毎のコストが変化する傾向がありますので、予測に関しましては下図を参考にしてください。

(四半期毎のカタログ費イメージ)



(注)この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などによりこの資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,706,931	12,245,447
受取手形及び売掛金	19,296,067	16,648,413
電子記録債権	6,523,510	5,516,361
有価証券	1,000,000	1,000,000
たな卸資産	7,463,815	7,564,273
その他	482,161	472,257
貸倒引当金	△7,209	△5,438
流動資産合計	47,465,276	43,441,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,166,046	2,139,839
土地	2,021,463	2,021,463
その他(純額)	1,159,680	2,574,008
有形固定資産合計	5,347,190	6,735,312
無形固定資産		
のれん	1,026,110	969,104
その他	983,614	1,168,180
無形固定資産合計	2,009,725	2,137,284
投資その他の資産		
投資有価証券	19,131,724	19,977,632
繰延税金資産	36,743	30,180
投資不動産(純額)	4,081,224	4,046,465
その他	722,090	741,241
貸倒引当金	△20,334	△20,394
投資その他の資産合計	23,951,447	24,775,125
固定資産合計	31,308,363	33,647,721
資産合計	78,773,639	77,089,036
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,449,828	14,467,706
短期借入金	940,000	900,000
未払法人税等	1,513,342	1,297,139
賞与引当金	691,832	508,019
その他	2,153,155	1,305,065
流動負債合計	22,748,158	18,477,932
固定負債		
長期借入金	1,100,000	650,000
繰延税金負債	140,822	676,397
株式給付引当金	114,456	111,332
役員株式給付引当金	33,480	33,480
退職給付に係る負債	43,042	12,625
資産除去債務	661,230	663,132
その他	680,245	672,780
固定負債合計	2,773,277	2,819,748
負債合計	25,521,436	21,297,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	4,452,559	4,452,559
利益剰余金	45,910,404	47,301,811
自己株式	△5,918,551	△5,916,788
株主資本合計	49,519,412	50,912,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,575,276	4,710,969
繰延ヘッジ損益	1,841	18,081
為替換算調整勘定	60,978	29,933
その他の包括利益累計額合計	3,638,096	4,758,983
新株予約権	94,693	119,790
純資産合計	53,252,203	55,791,356
負債純資産合計	78,773,639	77,089,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	30,786,554	32,594,851
売上原価	21,175,542	22,373,658
売上総利益	9,611,012	10,221,193
販売費及び一般管理費	6,123,402	6,386,088
営業利益	3,487,609	3,835,105
営業外収益		
受取利息	29,847	35,457
受取配当金	17,632	21,471
不動産賃貸料	182,977	203,942
その他	7,867	21,340
営業外収益合計	238,325	282,211
営業外費用		
支払利息	15,755	10,185
不動産賃貸原価	93,073	94,584
固定資産除却損	55,816	4,082
その他	11,503	27,384
営業外費用合計	176,148	136,238
経常利益	3,549,786	3,981,078
税金等調整前四半期純利益	3,549,786	3,981,078
法人税、住民税及び事業税	1,146,326	1,227,265
法人税等調整額	△573	34,225
法人税等合計	1,145,752	1,261,490
四半期純利益	2,404,034	2,719,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	410	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,403,623	2,719,587

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,404,034	2,719,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,565	1,135,692
繰延ヘッジ損益	113,504	16,239
為替換算調整勘定	△34,781	△31,045
その他の包括利益合計	44,158	1,120,886
四半期包括利益	2,448,192	3,840,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,447,781	3,840,473
非支配株主に係る四半期包括利益	410	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,549,786	3,981,078
減価償却費	388,325	405,847
受取利息及び受取配当金	△47,480	△56,928
支払利息	15,755	10,185
売上債権の増減額 (△は増加)	2,936,803	3,641,673
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△563,593	△108,382
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,087,785	△2,977,601
その他	△350,134	△600,341
小計	3,841,676	4,295,530
利息及び配当金の受取額	49,686	70,241
利息の支払額	△15,781	△10,312
法人税等の支払額	△1,099,040	△1,427,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,776,540	2,927,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000,000	500,000
投資有価証券の取得による支出	△4,913,459	△740,216
投資有価証券の償還による収入	3,200,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△130,206	△1,599,440
無形固定資産の取得による支出	△237,171	△192,187
その他	△25,814	741
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,652	△1,031,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△40,000
長期借入金の返済による支出	△500,000	△450,000
自己株式の取得による支出	△369	△1,361
自己株式の処分による収入	1,339	3,124
配当金の支払額	△1,271,163	△1,327,638
非支配株主への配当金の支払額	△36,750	-
リース債務の返済による支出	△26,460	△26,741
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,367,100	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,220,504	△1,842,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,274	△15,288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△565,891	38,516
現金及び現金同等物の期首残高	6,551,129	6,816,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,985,238	6,855,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売実績

a. 部門別販売実績

部門	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
研究・産業機器部門	24,550,444	79.7	25,847,850	79.3
病院・介護部門	6,030,267	19.6	6,528,910	20.0
その他	205,842	0.7	218,090	0.7
合計	30,786,554	100.0	32,594,851	100.0

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する得意先への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

3. その他は株式会社トリアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。

b. 品目別販売実績

品目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	3,451,908	11.2	3,525,834	10.8
分析、特殊機器・装置	5,086,262	16.5	5,685,559	17.5
物理、物性測定機器・装置	1,887,890	6.2	1,890,186	5.8
実験用設備機器	2,466,116	8.0	2,807,395	8.6
小計	12,892,176	41.9	13,908,977	42.7
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	8,218,242	26.7	8,587,964	26.3
半導体関係特殊器具	3,861,061	12.5	3,843,140	11.8
小計	12,079,303	39.2	12,431,104	38.1
看護・介護用品	5,609,230	18.2	6,036,679	18.5
その他	205,842	0.7	218,090	0.7
合計	30,786,554	100.0	32,594,851	100.0

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

3. その他は株式会社トリアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。